

中央工学校 / 中央工学校 OSAKA 主催

第4回 高校生対象コンペティション

RISE 部門 建築系高校
に在籍する1・2年生対象

STEP 部門 建築系高校以外
(普通科など) に在籍する1・2年生対象

写真に親しむ 軽井沢の暮らし

【 問合せ先 】

中央工学校

東京都北区王子本町 1-26-17

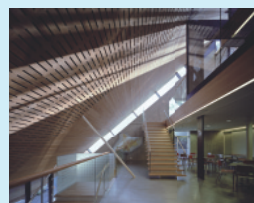
TEL: 03-3906-1211 (代表)

<http://www.chuoko.ac.jp/compe/>

建築系教員室 おいかわ 生川清孝



STEP (ステップ)
創立85周年記念館



RISE (ライズ)
創立100周年記念館

中央工学校は、2009年10月21日に創立100周年を迎えます。



テーマ：写真に親しむ軽井沢の暮らし



【趣旨】

『写真』は移りゆく世界・日常の一瞬を記録し様々な情報を伝える手段であり、撮影者の心や世界観を表現する芸術作品でもあります。画像加工技術が一般に普及し表現スタイルが多様化した昨今では、『写真』は職業や世代を超え多くの人に親しまれています。そのような『写真』の世界に魅力を感じ生活と密接に関わりながら、自然豊かな軽井沢で暮らす家族の住宅のイメージ・アイデアを提案してください。

RISE 部門

建築系高校
に在籍する1・2年生対象

～建築の世界へ高く飛び立とう～

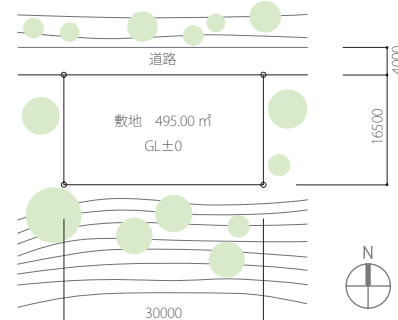
【設計条件】

計画地：長野県北佐久郡軽井沢町（下記、敷地図による）
敷地面積：495.00㎡
用途地域：第一種低層住居専用地域
建ぺい率：30%
容積率：50%
構造：木造
家族構成：夫・妻・子供1人（年齢・職業などは自由に設定する）
その他：自由に設定する

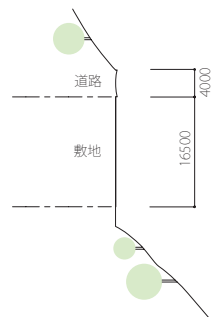
【提出物】

用紙：A2版用紙 1枚
内容：「作品タイトル」「設計コンセプト」の他、平面形や立面形がわかるものを適宜レイアウトする
各種図面（平面図・立面図・断面図など）の他、「パース」や「模型写真」などを利用してもよい

【敷地平面図】



【敷地断面図】



【後援】

(社) 全国工業高等学校長協会

【応募方法】

エントリー：右記 HP からエントリーしてください。 <http://www.chuoko.ac.jp/compe/>
作品送付先：〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17
TEL：03-3906-1211（代表）
中央工学校 建築系教員室 生川

※「高校名・学科名・学年・クラス・氏名（ふりがな）」を専用の用紙に記入し、作品裏面に貼り付けてください。
用紙は、HP からダウンロードしてください。 <http://www.chuoko.ac.jp/compe/>
※グループでの応募はできません。一人1作品とします。

【審査基準および審査委員長】

審査方法：製図力ではなく、イメージ・アイデアを重視する。
審査委員長：手塚 貴晴（建築家 / 東京都市大学教授）
審査委員：中央工学校 高校生対象コンペティション審査委員会

STEP 部門

建築系高校以外
（普通科など）に在籍する1・2年生対象

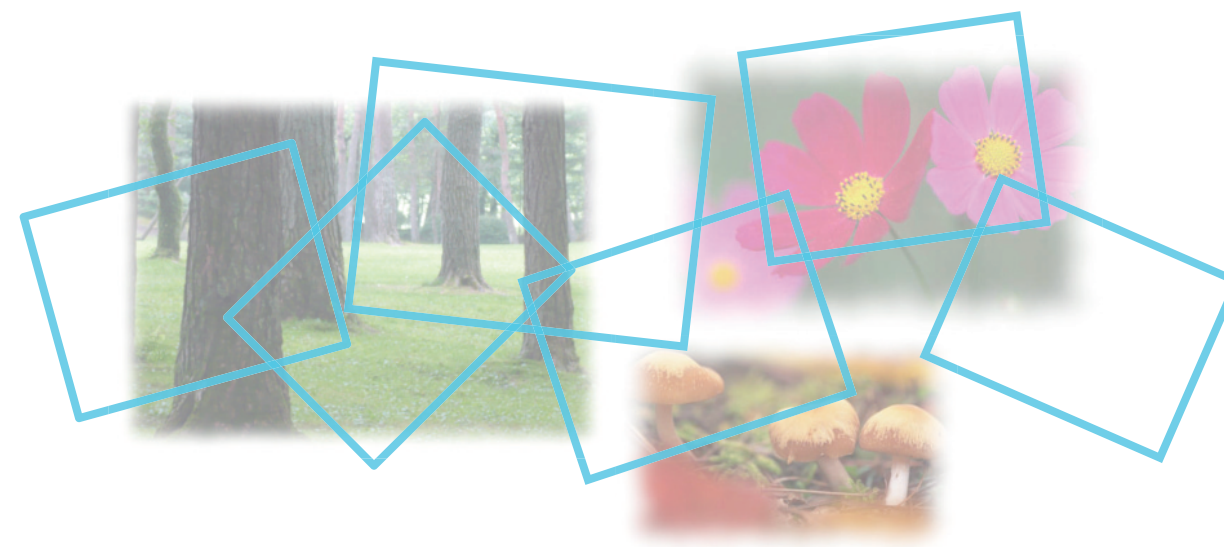
～建築への第一歩を踏み出そう～

【設計条件】

計画地：長野県北佐久郡軽井沢町内とし、自由に設定する
RISE 部門の課題敷地を利用してもよい
家族構成：夫・妻・子供1人（年齢・職業などは自由に設定する）
その他：自由に設定する

【提出物】

用紙：A3版用紙 1枚
内容：「作品タイトル」「説明文」の他、住宅のイメージについて、「スケッチ」「イラスト」「写真」などを利用して適宜レイアウトしたもの（内部・外部を問わず住宅の一部や暮らし方の提案でもよい）



【表彰】

最優秀賞：各部門1点 3万円（図書カード）
優秀賞：各部門2点 1万円（ " ）
佳作：各部門10点以内 5千円（ " ）
奨励賞：各部門20点以内 千円（ " ）
※作品提出者全員に参加賞（記念品）と、入賞作品集を差し上げます。
※審査の結果、入賞に該当しない場合もあります。

【スケジュール】

平成21年11月27日（金） エントリー締め切り
平成22年 3月 5日（金） 作品締め切り（必着）
平成22年 4月 中旬 審査結果発表
平成22年 5月 中旬 審査経過説明会および作品展示会
※当コンペの経過は在学する高校に通知すると共に、HP にて発表いたします。 <http://www.chuoko.ac.jp/compe/>

【応募・著作権など】

・原則として応募作品は返却しません。応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、HP や雑誌への掲載に関する権利は主催者が保有するものとし、入賞作品や学校名、氏名などを発表いたしますので予めご了承ください。
・作品に掲載するイメージ写真・イラスト等は著作権を十分に考慮し、自分で撮影・作成したもの等を利用してください。

テーマ：写真に親しむ軽井沢の暮らし

審査委員長より コンペに取り組む皆さんへ

～ RISE 部門・STEP 部門 共通 ～



審査委員長 手塚 貴晴（建築家 / 東京都市大学教授）

基本的に写真は単なる点情報の集まりでしかない。デジタル化が進んだ現代でもこれは同じで、写真は単なるデータの集積である。それにも関わらず後生大事に家族の写真をたてに入れ、机や棚に飾る性癖を人がもっているのは、写真は過去の世界への入り口だからである。写真を見ることによって、その写真を撮った時の音やにおいが同時に脳裏へと蘇る。遠い異国の地でも、妻や子供の声を届ける力を写真はもっている。一枚の家族写真がその情景に居合わせた本人にとってみれば、車や家よりも大切な存在となることも起こりうる。

写真には撮る人の意志が刷り込まれている。幼稚園が運動会の為にどんなに優秀な写真家を準備しても、親が自分の子供を自前のカメラで追い回しピントの甘い写真を撮り続ける。写真家の目は親の目とは違う。親と同じ目で子供を見ることはできない。そして何よりも親は自分で写真を撮った情景を覚えている。親は子供の為に写真を撮るのではない。その一瞬の輝きを未来の自分へと送るためにシャッターを押すのである。

最近アカデミー賞を受賞した「つみきのいえ」という映画がある。1人の老人が水面から僅かに顔を覗かせた水に沈んだ家を延々と継ぎ足して積んでいく映画である。老人は額縁の中に大切にしまいこまれた写真を眺めて暮らす。老人はうっかり大切なパイプを床の穴に落としてしまい、それを回収すべく意を決して水の中にもぐる。もぐると写真の中に隠れていた情景が、深い水の中に沈んでしまった部屋を下へ下へと巡る内に蘇り始める。最終的には上の部屋へと戻りまた写真と暮らす生活へと戻るといふ実に単純な映画である。この映画の中で写真と建築は密接な関係にある。写真の奥に隠れ忘れられていた世界が、建築という物に堆積した記憶として鮮明に蘇るのである。ここで描かれた建築は機能的な構造物ではなく、記憶装置である。

今回の課題では写真の意味を深く理解し、単なる写真を紙の上の印刷物に終わらせない写真をテーマとした家を作ってもらいたい。家は単なる構造物ではない。人の思い出を育む環境である。写真を軸として思い出を巧みに表現したオリジナル作品を期待している。

手塚 貴晴

テーマ：写真に親しむ軽井沢の暮らし

STEP部門の取り組み方 建築系高校以外 (普通科など) に在籍する1・2年生対象

STEP部門に取り組む方へ、参考にしていただきたい内容を要項とは別にまとめさせていただきました。
作品制作の一助としてご活用ください。
なお、RISE部門につきましては同内容の用紙はございませんので、ご了承ください。



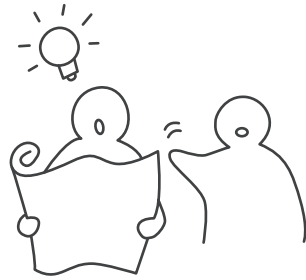
高校生対象コンペティション実行委員会

【STEP部門の目的】

コンペティションを通じ、自分の考えを文章やスケッチ等で表現する学習を行うことで、思考力や表現力の向上を目的としています。
作品を制作する一連の作業を通して、学習の一助となることを願っています。

【コンペティション…って、何？】

略して『コンペ』とも呼ばれ、さまざまな競技や、競争を示します。
例えば、スポーツでのゴルフ競技会や、市場における商品デザインの提案開発等で使われます。
今回の当コンペでは、公募により建物に関する作品のアイデアを募り審査をします。



アイデアを考えることが好きな方や、建築・インテリアに興味がある方は、是非チャレンジしてみませんか？

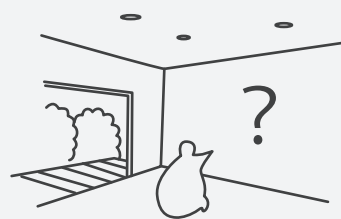
【テーマ】

STEP部門では、建物すべてを設計する必要はなく、人の住まい方や建物の一部分、ある部屋のインテリア、庭等の建物とつながる外部空間などの自由なアイデアを求めています。RISE部門のように、敷地が指定された条件のもとで、建物を設計することは必要ありません。長野県軽井沢町内において自由に設定してください。各自環境を想定しましょう。

例えば・・・

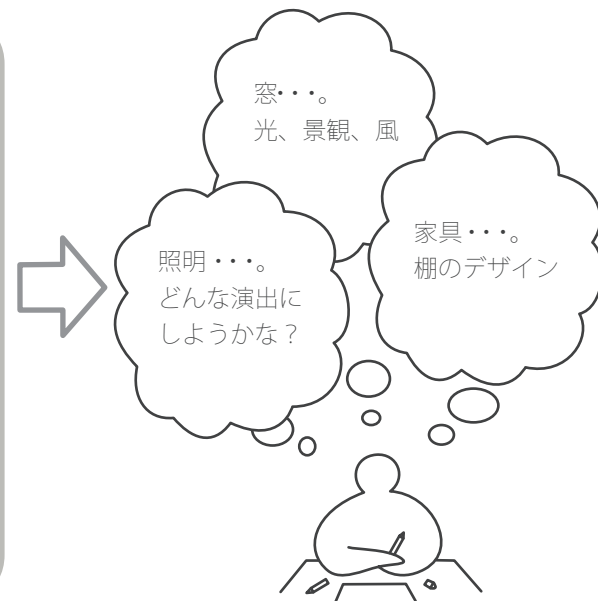
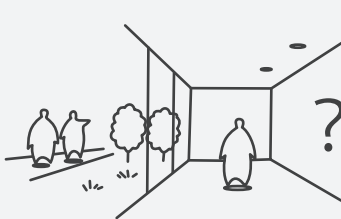
緑あふれる環境に建つ住宅で
自慢の写真をリビングルームに
飾りたい・・・。

そのためのインテリアの
イメージは？



軽井沢駅通りに近い場所なので、
観光客に自由に写真を見てもらう
庭先のギャラリーを作りたい・・・。

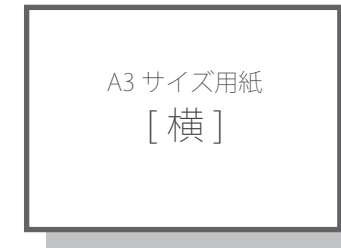
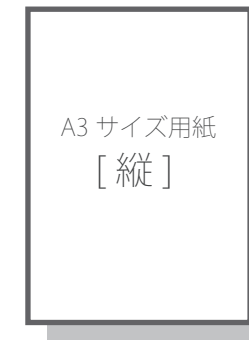
そのための庭と、
展示のイメージは？



このように、写真をテーマとした住宅のイメージを、次のようにまとめてください。
楽しく、夢のあるアイデアを、考えてみましょう！！

【用紙】

用紙：A3サイズ、用紙の向きは「縦」でも「横」でもかまいません。内容をまとめやすい方向でよいでしょう。



画用紙、ケント紙などのしっかりとした厚手の用紙がよいでしょう。

【作品内容】

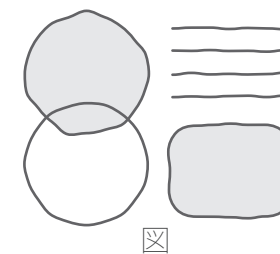
A3用紙の中に以下の内容をまとめます。
効果的なデザインや着色方法で表現し、用紙の中に自由に配置しましょう。下図はレイアウトの一例です。

作品に必要な条件は、以下の3点です。

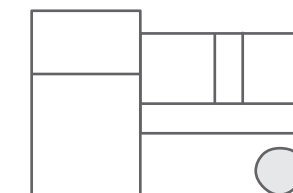
- 1) 作品タイトル
- 2) 説明文
- 3) スケッチ、イラスト、イメージ写真など視覚的に内容が分かるものを1つ以上



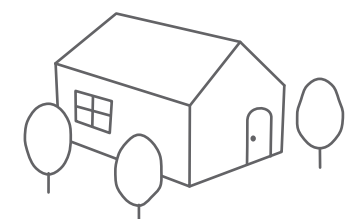
例えば・・・



図



簡単な間取り図



スケッチや写真